

「今日は、大寒（だいかん）。寒さはここから。来週は、私立入試です！」

生徒指導通心

第30号

縁（えん）

妻ヶ丘中生徒指導部

令和5年1月20日発行



3学期がスタートして、二週間が過ぎました。生活リズムは、元に戻りましたか？まだまだ寒い日が続きます…というより、さらに寒さが厳しくなるという予報も出ています。寒さに負けず、リズムを崩さず、この時期を乗り切ってください。

さて、16日（月）に、本校の卒業生であり、読売ジャイアンツの戸郷翔征選手が来校されました。都城市長を表敬訪問した帰りに立ち寄ってくれました。校長室で、色々な話をした後、「校舎を見て回ってもいいですか」と言うことで、案内をしました。時間が限られていたため、全ての教室を案内することができませんでしたが、戸郷選手の表情がマウンドで見せる表情とは全く違い、優しい表情で皆さんの様子を見て回る姿が印象に残りました。戸郷選手は、3月から開催される

WBCに出場する侍ジャパン（日本代表）にも選ばれています。皆さんで、戸郷選手の活躍を期待して、応援しましょう！

来週は、いよいよ私立入試です。3学期に入り、すでに幾つかの高校で入試が行われていますが、来週は大多数の人が、受験することになると思います。3年生の皆さん、もうひと踏ん張りです。まずは、体調をしっかりと整え、全力が出せるように準備を進めて下さい。受験生全員の健闘を祈ります！

★阪神淡路大震災に想う★

1995年（平成7年）1月17日に発生し、6434人が犠牲となった「阪神淡路大震災」から28年が経ちました。当時、私は大学4年生で、高知県に住んでいました。卒業論文の追い込み真っ最中で、その日も、ゼミ室で作成に追われていました。

そして、午前5時46分。これまで経験したことのないような激しい揺れに襲われました。震度5。座っていても、恐怖を感じる揺れでした。さらに、テレビをつけた時に飛び込んできた映像。同じ日本でこんなことが起こっているのかと、目を疑うほどの衝撃を受けました。同じ学部にも、兵庫県に住む同級生もいました。家族と連絡が取れない、帰りたけれど交通網が寸断されている…当時は携帯電話、インターネットやメールも普及していません。もし、あったとしても、あの状況では恐らく使えていなかっただろうと想像します。その後、同級生は帰省しましたが、実家も被害を受けていたようでした。「俺はまだ命があるだけありがたい」と、ひどく落ち込んで帰ってきた時のことを思い出します。



ここ妻ヶ丘中学校でも火災や地震を想定した避難訓練を行っています。しかし、実際には「いつ、どこで」起こるか分かりません。もしかしたら、休み時間、昼休み、外出中に起こるかもしれません。要は、「その時にどう動くか？」ですね。阪神淡路大震災は、早朝の出来事でした。準備万端であれば、被害の拡大も少しは防げたかもしれません。

これを機会に、家族と避難場所の確認、防災グッズの準備など進めてみることも大切ですね。この世の中に「絶対大丈夫」はありません。「もし…」という時のために、常に心の準備・物資の準備をしておくことが大切ですね。

油断大敵！感染症予防・対策徹底！

